

第 60 回北海道小学校長会 総会・研修会 会長挨拶



ただ今、会長としてご承認いただきました札幌市立幌南小学校校長の角野誠でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

第 60 回北海道小学校長会総会・研修会の開催に当たり、ただ今、ご承認いただきました平成 29 年度の役員を代表しまして、ご挨拶申し上げます。

はじめに、本日、ご来賓といたしまして、北海道教育委員会 学校教育監 村上明寛様、北海道都市教育長会会長 長岡豊彦様、北海道中学校長会会長 古谷雅幸様、北海道 P T A 連合会会長佐藤彰様をはじめ、北海道小学校長会が、日頃より「チーム北海道」としてご支援いただいております教育関係団体の皆様、そして、歴代の道小会長及び役員の皆様方のご臨席を賜りましたことに、厚くお礼申し上げます。

また、新年度が始まりまだ 1 か月余りのお忙しい中、全道各地より総勢 100 名にも及ぶ代議員・理事の皆様方にお集まりいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

さて、この北海道小学校長会は、今年度、昭和 32 年の発足から 60 年目を迎える伝統ある組織であります。これまで、北海道の教育が幾多の困難に直面する中、「正論を以って正道を歩む」という理念の下、校長の職能向上と北海道教育の振興・発展を図ることを目的として、半世紀を超えて活動を行ってまいりました。全道の会員一人一人が北海道教育の向上のために、真摯に取り組を進めていらっしゃいますが、今後も、このような伝統を引き継ぎ、皆様と力を合わせながら努力を積み重ねてまいりたいと考えております。

今年度は、創立 60 周年を迎える節目の年でもあります。平成 29 年 12 月 19 日には、記念式典を予定しております。

各学校におかれましては、2020 年度から完全実施される次期学習指導要領の円滑な実施に向けて、社会に開かれた教育課程の推進、指導体制の整備、校内研修の充実等に取り組んでいるところかと思えます。子どもたちには、変化の激しい時代を生きていくために、基礎的な知識・技能を身に付けるとともに、それらを活用した思考力・判断力・表現力、主体的に学ぶ豊かな人間性などが求められています。

こうしたことを踏まえ、北海道小学校長会では、近年、本道教育の質の向上を目指す上で、時代の要請に応える「授業改善」が重要課題であると主張してきました。各学校においては、校長のリーダーシップの下、教師一人一人が授業研究を通して研鑽を積み

重ね、授業力の向上に努めていることと思います。

その一方では、今日、学校が抱える問題は、複雑化・多様化しており、いじめ・不登校などの生徒指導上の問題への対応、貧困・児童虐待などの課題を抱えた家庭への対応、特別な教育的支援を必要とする児童への対応、保護者へのきめ細かな対応など、様々な課題が山積しております。

さらには、子どもと向き合う時間の確保や時間外勤務等の縮減、教職員定数の改善、服務規律の徹底なども喫緊の課題となっております。

私たち校長は、こうした教育改革の推進や教育課題に立ち向かっていかなければなりません。時代の変革期を迎えている今だからこそ、これまで以上に北海道小学校長会の存在意義が問われているとも言えます。

このような中、今年度、第60回北海道小学校長会教育研究宗谷・稚内大会が開催されます。全道校長の半数以上が集う研究の場において、教育の現状を語り合い、北海道教育の質の向上に向けて、我々自身が研鑽を積んでいくことが大切です。現在、宗谷校長会の皆様方が、総力を挙げて鋭意ご準備くださっております。第40回大会以来、20年ぶりの開催となります。日本最北の地での開催は、大変意義深いものだと考えております。私たちは、宗谷の風を肌で感じながら、北海道教育の在り方を考えていきたいものです。

この教育研究大会は、私たち道小の根幹を支える活動だと考えております。私たちが学校経営を行っていく上での大きな糧となるよう期待しています。

昨年度の小樽大会におきましては、分科会の運営や討議の内容につきまして、全連小の大橋会長から高い評価をいただいております。私たちは、誇りと自信をもちながら、研究を深めていきたいものです。特に、分科会については、これまで、参観型から参加型、近年は参画型というように、工夫を重ねてまいりました。今後、更なる改善を目指すことが、全連小北海道大会の充実に結び付くものと考えております。

この第70回全国連合小学校長会研究協議会北海道大会は、来年度、平成30年10月4日・5日の両日、函館市の「函館アリーナ」を全体会場として開催いたします。全国から約2,400名余りが参加するという大規模な大会となります。現在、函館市小学校長会の皆様方が中心となり、道小事務局と連携を図りながら、準備を進めているところです。大会の成功に向けて、道小の力を結集していきたいと考えております。

本日まで出席の皆様、それぞれ各地区のリーダーとしてその重責を担われています。地域による教育事情は様々かと思いますが、各地区校長会が道小という組織を通して、今後も、大同団結していくことが大切であると考えております。それが全国連合小学校長会の活動の充実にもつながり、教育改革の大きなうねりにもつながっていくと確信して

おります。

昨年度の「組織の在り方検討委員会」では、各地区校長会の皆様から、道小の活動に対して貴重なご意見をいただくことができました。会員一人一人の方々にとりましては、会費値上げ問題が、道小という組織を考える一つの契機になったのではないのでしょうか。これからも、この道小という組織を活性化させるとともに、北海道教育委員会、北海道中学校長会、北海道PTA連合会、民間教育団体等の教育関係諸団体などとも連携を図りながら、「チーム北海道」として北海道教育の充実に努めてまいりたいと考えております。

結びになりますが、改めまして、北海道小学校長会は、本道教育の具体的な問題や課題に対して積極的に取り組み、子どもたちの成長と本道の教育に責任をもつ校長会として、全道の校長先生方と平成29年度の活動を推進してまいりたいと考えております。

ご来賓の皆様におかれましては、本会の発展のために一層のご支援をお願い申し上げますとともに、ここに参加していただいているすべての皆様のますますのご健勝をお祈り申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。

本日の総会・研修会を、どうぞよろしく願いいたします。